

# 平塚市市民活動推進補助金審査会 平成30年度 第1回 議事録

日 時 平成30年12月22日（土）午後2時00分から午後4時00分まで  
場 所 ひらつか市民活動センター B会議室  
出席者 藤巻委員、藤井委員、東樹委員、寺山委員、佐藤委員、横田委員、加藤委員、事務局

## 1 委員長の選出

平塚市市民活動推進補助金審査会規則に基づき、委員長の選出を行なった。委員の互選により、藤巻委員が委員長に選出された。

## 2 職務代理者の指名

委員長の職務代理者の役割について事務局から説明後、委員長の指名により藤井委員に決定した。

## 3 平塚市市民活動推進補助金の概要

平塚市協働のまちづくり基金の概要、交付要綱、応募の手引き等について事務局から説明した。

### 【委員からの意見・質問等】

- <委員> 入門・発展コースの申請時のサポートは事務局で行うか。
- <事務局> 申請書の書き方などについて、希望者にはサポートを行う。
- <委員> 市民活動ファンドの過去の申請団体には、事業内容はとても良かったのに、会計書類が整っていないため落選した団体もあった。申請時は事務局でしかサポートできないのでしっかりと対応してほしい。
- <事務局> 最終的に申請書を書くのは申請団体になるが、できるだけ細かくサポートしたい。
- <委員> 市民活動ファンドでは公開審査であったが、新しい補助金では非公開の審査となる。審査の透明性という点では事務局としてはどう考えているか。
- <事務局> 市民活動ファンドの公開審査は、確かに目の前で審査が行われ透明性が高いと言えるが、審査委員間の議論が十分に行われずに審査されてしまい、落選理由なども曖昧であった。新しい補助金では、非公開になるが、十分に議論をしたうえで審査することで、評価理由、落選理由なども明確になることから、落選団体へのフォローアップなどもしっかりできるようになる。審査の透明性については、採点結果を公表していくことで担保していく。
- <委員> 公益法人の場合、公益に資する事業の経費が全体の50%以上必要という制限がある。組織基盤整備コースでは、団体内部の課題に対しての費用の助成となるが、50%の制限などがなくてよいのか。
- <事務局> 組織基盤整備コースは、審査基準の中に、団体の普段の活動の公益性を評価する項目があり、公益性の高い事業・活動を実施していることが前提となる。また、このコースを作った理由は、活動への補助だと補助金がなくなると資金不足になり、団体が活動を続けられない、縮小するというケースも多いことから、より長い効果を期待でき

る組織基盤の課題の解決に補助をすることで、活動を発展させてほしいという狙いがある。

<委員> 組織基盤の課題は団体内で活動や組織を振り返り、十分に検討して解決すべきである。発展コースから連続して組織基盤整備コースを申請する団体もあるが、一度間隔をあけて、内部でしっかり振り返りをしてから申請するようにするべきではないか。

<事務局> 組織の課題は団体によって様々であり、その必要なタイミングも多様である。一概に申請する時期を制限するのは望ましくない。審査基準の中に、組織基盤整備の必要性、実現性といった項目もあり、申請ごとに審査の中で判断をしていただく。

<委員> 設立から間もない団体でも組織基盤の整備が必要な場合もある。自分が中間支援の立場で関わった団体にも、「何をやるか」の前に「誰とやるか」を考えて上手くいった団体もある。組織基盤整備コースの補助を受けてから、発展コースへ進む団体があってもいいのではないか。

<委員> 事前ヒアリングや申請時のフォローなど、事務局の負担が大きいのでは。職員には人事異動もあり、支援機能を維持できるか。職員によっては、市民活動についての知識や経験が少ない方もいるだろう。全職員の協働意識を向上させる取り組みはあるか。

<事務局> 人事異動については、避けられない課題である。引継ぎをしながら、機能を低下させないように努力していきたい。全職員の意識については、年に1回、全課を対象にした協働研修を開催するほか、新採用職員にも市民との協働について研修を実施している。

<委員> 基金の所管はどこになるか？

<事務局> 協働推進課が所管している。

#### 4 平成30・31年度の審査会の予定

審査会のスケジュールについて事務局から説明した。

【委員からの意見・質問等】 なし

#### 5 平成31年度補助金の申請募集及び審査方法

書類及びプレゼンテーション審査の流れ、審査基準及び方法について事務局から説明した。

【委員からの意見・質問等】

<委員> 最終の採点については委員の議論により決定するということであるが、補助額についても同様か。

<事務局> 採点、補助額ともに委員の議論により決定する。

<委員> 評価のものさしが難しく、補助の妥当性については議論が必要だと思うので、非公開での審査が良い。